

科 目 名	情報学基礎演習				
配 当 学 年	1年	必修・選択	必修	CAP制	対象
授 業 の 種 類	実習	単位数	2単位	授業回数	15
授 業 担 当 者	石田 雪也、曾我 聡起		単位認定責任者	石田 雪也	
実務経験の有無	有				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	●石田 雪也 企業での情報システム・学修WEBコンテンツ開発業務の経験を活かして授業を展開している。				
授業科目の概要	本講義では情報機器の利用方法、情報検索とデータ収集、PowerPoint、Excel、Wordといった最も基本的なソフトウェアの使用方法を学びながら、統計学やコンピュータサイエンスについて学ぶ。データ活用手法について実際にデータを用いて学ぶ。また、情報セキュリティと情報モラルを理解し、メール送信などの情報発信について学ぶ。フローチャートでの論理的思考力についても触れる。				
授業科目の到達目標	1.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成ができる。 2.Word を用いたレイアウト調整、文章の作成ができる。 3.Excel を用いた、グラフ、関数を用いた計算ができる。 4.情報セキュリティ、モラルを意識し、防御策について説明することができる。 5.基本的なフローチャートの読み書きができる。 6.適切なデータ活用ができる。 7.デジタルデータに関する計算ができる。				
学修成果評価項目(%)および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	70%	授業時の課題及び実技試験		
	専門知識	%			
	倫理観	10%	授業時の課題及び実技試験(メール・情報モラル部分)		
	主体性	10%	授業外課題		
	論理性	10%	文書作成課題		
	国際性	%			
	協調性	%			
	創造力	%			
	責任感	%			
授業の展開					
1.	情報機器の利用方法(学内 PC、ポータルシステム、E ラーニングシステムの利用方法)				
2.	情報知識の確認・キーボード入力とメールの送信				
3.	Office365／生成AI／情報検索とデータ収集(Web 検索を通じた情報検索とそのまとめ方について)Wordを用いたレポートの作成				
4.	PowerPoint : プレゼンテーションソフトの活用: 文字入力・図形作成(発表資料の作成)				
5.	情報モラルとフローチャート(読み) オンデマンド				
6.	情報モラルとフローチャート(書き)				
7.	フローチャート小テスト/Excel: 表の概念・数式入力・関数				
8.	2進数・データ量の計算/Excel: データ分析の実践(平均・偏差、vlookupなどの表計算の実施)				
9.	2進数・データ量計算小テスト/Excel: データ処理(if、countif 等関数を用いた処理)				

10.	Excel グラフ				
11.	相関と回帰分析				
12.	データ処理と分析				
13.	人流データ(ビッグデータ)分析				
14.	人流データ分析発表/復習				
15.	実技試験				
授業外学修について	教科書に連動した専用の動画サイトが準備されており、必要な機能の操作についてはこれらを見ることで理解できる。それぞれの課題については、こうした動画像サイトなどを使いながら授業前に自ら予習し作業するものが含まれる。 授業中に示した内容に準じた内容が実技試験に出題されることがある。授業時に示された機能をしっかりと理解しておく必要があるため、授業後は復習を行い身につけておく必要がある。				
教科書	はじめの一步 基礎から始めるデータサイエンス 保本正芳 Noa出版 978-4-908434-76-1				
参考文献	なし				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	○	○	×	×
成績評価の割合	0%	20%	80%	0%	0%
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69点~60点)、不可(59点~0点)				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	<p>授業時の予習、授業内の課題、取り組み状況(態度)、プレゼンテーション、授業外課題について合計60点で算出する。 詳細は授業時に説明する。</p> <p>課題 4×13=52点 13週目課題 8点 小テスト 2回×10点 実技テスト20点 計100点満点</p> <p>提出課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題は授業終了時もしくは指定された日時に提出する。 2. 提出された課題を演習点とする。 <p>中間テスト 計2回実施する(筆記試験) 実技試験(20点満点)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 試験では授業で扱った内容の実技試験とする。 2. 試験には再試験はないので注意すること。 <p>その他、授業の進め方などについては適宜授業中やポータルサイトで指示を行うことがあるので、それに従うこと。</p> <p>病気や忌引等による欠席届の扱いについて 欠席届の提出者は、次回の授業までに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、授業担当者にメールで連絡し、 2、指示された課題を次回の授業までに行うこととする。(欠席届提出のみでは課題点などの付与は行わない) <p>実習科目のため、欠席届未提出の欠席回数が4回を超える場合単位を認定しない。</p>				